

平成24年度 災害対策用機械操作講習会を開催しました。

平成24年6月12日に栃木県真岡市の鬼怒川・真岡地区河川防災ステーションにて災害対策用機械操作講習会を開催しました。栃木県内の国土交通省事務所、栃木県、県内市町村、災害協定締結会社の各職員総勢101名が参加しました。

この講習会は、災害対策用機械の操作方法を習得するもので、毎年1回実施しています。

今回は、対策本部車、照明車、待機支援車、Ku-SAT（小型衛星画像伝送装置）の4機械を対象にし、参加者皆真剣な表情で講習を受けていました。

これらの災害対策用機械は、国土交通省の各事務所が保有しており、災害発生時には現地復旧支援として、全国各地に派遣しております。



現地対策本部としての機能をもつ「対策本部車」



現地作業員が仮眠・休憩するための「待機支援車」



夜間の災害復旧支援としての「照明車」



災害現場の画像を衛星で伝送する「Ku-SAT」